

香川高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	プレ研究 I
<b>科目基礎情報</b>					
科目番号	180204	科目区分	専門 / 選択		
授業形態	講義・実験・実習	単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電気情報工学科 (2018年度以前入学者)	対象学年	1		
開設期	通年	週時間数	1		
教科書/教材					
担当教員	岩田 弘				
<b>到達目標</b>					
1. チームで設定した解決すべき課題と目標を説明することができる。 2. チームで立てた目標達成のための計画と具体的な課題解決策を説明することができる。 3. チームメンバーとして発表資料制作に貢献し、成果を発表することができる。 4. 発表資料やエビデンスの再構築に協力し、提案書の作成に貢献することができる。 5. チームメンバーとして分担した役割を果たすことができる。					
<b>ルーブリック</b>					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
到達目標1	解決すべき課題をチームで協力して発見し、提案性のある目標を助言を得ながら設定することができる。	チームで設定した解決すべき課題と目標を説明することができる。	チームで設定した解決すべき課題と目標を説明することができない。		
到達目標2	目標達成するための計画を立て、チームメンバーからの情報を収集・整理して具体的な課題解決策を助言を得ながら提案することができる。	チームで立てた目標達成のための計画と具体的な課題解決策を説明することができる。	チームで立てた目標達成のための計画と具体的な課題解決策を説明することができない。		
到達目標3	チームでの調査や実験等で得られたエビデンスをもとに発表資料を作成し、成果を発表することができる。	チームメンバーとして発表資料制作に貢献し、成果を発表することができる。	発表資料が不十分で、成果を十分に発表することができない。		
到達目標4	発表資料やエビデンスを再構築し、提案書を作成することができる。	発表資料やエビデンスの再構築に協力し、提案書の作成に貢献することができる。	発表資料やエビデンスの再構築に協力し、提案書の作成に貢献することができない。		
到達目標5	チームメンバーとして役割を分担して協働することができる。	チームメンバーとして分担した役割を果たすことができる。	チームメンバーとして分担した役割を果たすことができない。		
<b>学科の到達目標項目との関係</b>					
<b>教育方法等</b>					
概要	地域社会や企業から提供された問題について、学生がプロジェクトチームを組み、主体的に問題解決に取り組む。学生はこの過程において、組織や地域社会の中で多様な人々とともに仕事をしていくために必要な基礎的な能力を身につける。				
授業の進め方・方法	1～3年の学年・学科横断でチームを組み、地域社会や企業から提供された問題を解決するための提案書を作成する。				
注意点					
<b>授業計画</b>					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス, チームビルディング	チームメンバー全員が目的を共有できる。	
		2週	チームビルディング	チームメンバー全員が目的を共有できる。	
		3週	課題設定のための企業見学	助言を得ながら情報を収集し、解決すべき課題をチームで協力して発見することができる。	
		4週	課題設定のための企業見学	助言を得ながら情報を収集し、解決すべき課題をチームで協力して発見することができる。	
		5週	ビジョンとゴールの設定 (チーム活動)	提案性のあるゴールをチームで協力して設定することができる。	
		6週	ビジョンとゴールの設定 (チーム活動)	提案性のあるゴールをチームで協力して設定することができる。	
		7週	ビジョンとゴールの発表 (プレゼン)	チームで設定したビジョンとゴールを説明することができる。	
		8週	ビジョンとゴールの発表 (プレゼン)	チームで設定したビジョンとゴールを説明することができる。	
	2ndQ	9週	情報収集と計画立案 (チーム活動)	チームで立てた目標達成のための計画を説明することができる。	
		10週	情報収集と計画立案 (チーム活動)	チームで立てた目標達成のための計画を説明することができる。	
		11週	情報収集と計画立案 (チーム活動)	チームで立てた目標達成のための計画を説明することができる。	
		12週	情報収集と計画立案 (チーム活動)	チームで立てた目標達成のための計画を説明することができる。	
		13週	情報収集と計画立案 (チーム活動)	チームで立てた目標達成のための計画を説明することができる。	
		14週	解決策の提案 (プレゼン)	チームで提案する課題の解決策を説明することができる。	
		15週	解決策の提案 (プレゼン)	チームで提案する課題の解決策を説明することができる。	
		16週			
後期	3rdQ	1週	調査, 制作, 実験, 分析 (チーム活動)	必要なエビデンスを得るための調査や実験に貢献することができる。	

4thQ	2週	調査, 制作, 実験, 分析 (チーム活動)	必要なエビデンスを得るための調査や実験に貢献することができる。
	3週	調査, 制作, 実験, 分析 (チーム活動)	必要なエビデンスを得るための調査や実験に貢献することができる。
	4週	プレゼン準備 (チーム活動)	プレゼン資料を作成に貢献することができる。
	5週	プレゼン準備 (チーム活動)	プレゼン資料を作成に貢献することができる。
	6週	成果発表 (プレゼン)	成果を発表することができる。
	7週	成果発表 (プレゼン)	成果を発表することができる。
	8週	再構築 (チーム活動)	発表資料やエビデンスの再構築に貢献することができる。
	9週	再構築 (チーム活動)	発表資料やエビデンスの再構築に貢献することができる。
	10週	成果物 (提案書) の作成 (チーム活動)	他者の役に立つ提案書の作成に貢献することができる。
	11週	成果物 (提案書) の作成 (チーム活動)	他者の役に立つ提案書の作成に貢献することができる。
	12週	成果物 (提案書) の提出	提案書を決められた期日までに提出することができる。
	13週	成果物 (提案書) の提出	提案書を決められた期日までに提出することができる。
	14週	成果物 (提案書) の相互評価	各チームの提案書を客観的に評価することができる。
	15週	成果物 (提案書) の相互評価	各チームの提案書を客観的に評価することができる。
	16週		

### モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	プレゼン	計画書	提案書	相互評価	合計
総合評価割合	50	10	10	30	100
到達目標1	20	0	0	0	20
到達目標2	10	10	0	0	20
到達目標3	20	0	0	0	20
到達目標4	0	0	10	10	20
到達目標5	0	0	0	20	20